



photo : J.Shimizu

緊急シンポジウム第2弾

残せるか！ 東京・大阪中央郵便局庁舎

日時：2007年8月2日（木）18：00-20：30

会場：建築家会館(JIA)1階大ホール [東京都渋谷区神宮前2-3-16]

東京銀座メトロ線外苑前駅徒歩10分/大江戸線国立競技場前徒歩13分/JR千駄ヶ谷駅徒歩15分

総合司会 内田青蔵 (埼玉大学教授)
 コーディネーター 兼松紘一郎 (日本建築家協会・兼松設計)
 パネリスト 内田祥哉 (東京大学名誉教授)
 鈴木博之 (東京大学大学院教授)
 藤岡洋保 (東京工業大学大学院教授)
 南一誠 (芝浦工業大学教授)

資料代 一般1500円 学生500円 (当日受付にて)
 主催 日本建築学会関東支部・日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部・
 DOCOMOMO Japan
 申し込み 当日会場にて申し込み可、先着150名
 問合せ先 JIA事務局(清宮) [Tel 03-3408-8291]

首都東京、商都大阪のシンボルであり、またわが国のモダニズム建築の代表例でもある東京中央郵便局庁舎と大阪中央郵便局庁舎を再開発して高層化する計画が発表されました。同時に東京中央郵便局庁舎については、設計者選定のプロポーザルが行われて、4社が応募したと報道されています。日本郵政は東京中央郵便局庁舎の建て替えについては有識者による「歴史検討委員会」を設置して、開発が保存かの方針を決めるとされています。しかし、この建物の歴史的価値がどの程度保存されるのかについては予断を許さない状況です。

一方郵政民営化委員会が行った民営化後の業務内容に関するパブリックコメントには、保存移管する要望が数多く寄せられており、内閣府のHPで公開されています。また保存を求める超党派の国会議員団が結成され、郵政公社総裁に「東京中央郵便局庁舎を重要文化財にして保存」を要請する要望書を提出しました。こういう状況をふまえ、東京・大阪中央郵便局庁舎の建築的価値を再認識し、それぞれの立場から保存要望書を提出した日本建築学会、日本建築家協会そしてDOCOMOMO Japan 三団体が合同して、この庁舎を残すための議論を行う緊急のシンポジウム第2弾を、昨年の7月に続いて開催します。お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

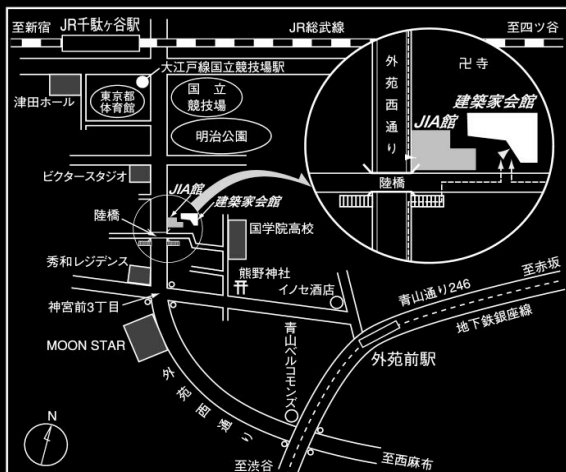


photo : K.Kanematsu

参加申込書

氏名

所属先名

TEL

次に○印をお願い致します。 建築学会・JIA・DOCOMOMO Japan・その他一般

お申し込みは e-mail か FAXで

e-mail mkiyomiya@jia.or.jp

FAX 03-3408-8294(JIA 清宮宛)